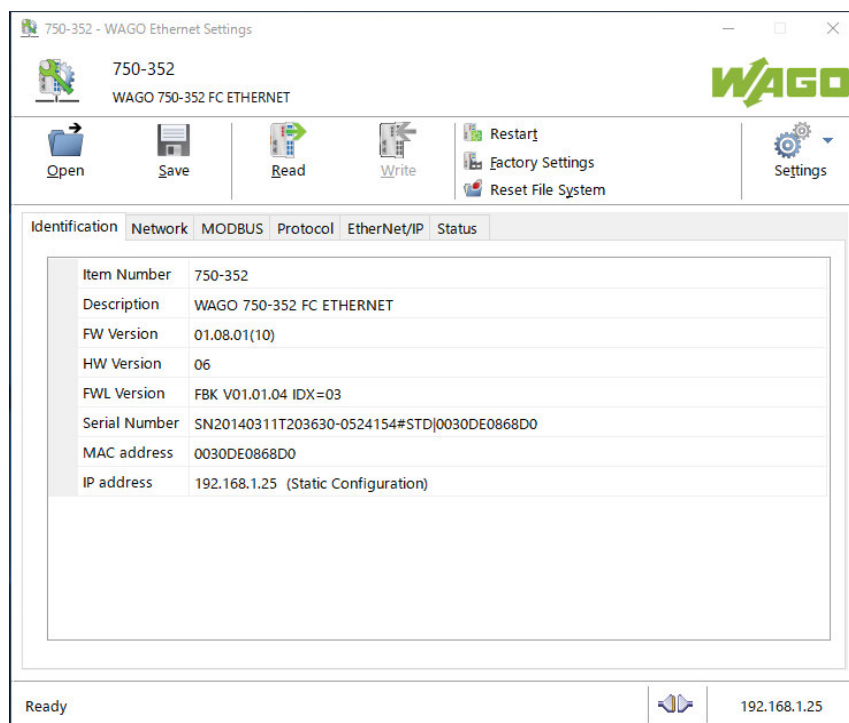


## WAGO Ethernet Settings (759-316)



### 簡易マニュアル

< ver.2017.01.23 >

# 1. 概要

「WAGO Ethernet Settings」は、Ethernet 対応バスケーブル/バスコントローラ（以下“デバイス”）に対し IP アドレスなどを設定するためのソフトウェアとなります。設定には WAGO-IO-Pro 32, WAGO-IO-Pro CAA, WAGO-I/O-CHECK 3 などキット型番に同梱されている専用サービスケーブル（単品型番：D-SUBタイプ=750-920, USBタイプ=750-923）が必要となります。

※ IP アドレス設定用 DIP-SW を搭載したデバイスの場合は、専用サービスケーブルを準備しなくても Ethernet ケーブル経由で設定することも可能です。

※ USB タイプを使用される場合は、別途 USB ドライバのインストールが必要となります。（当ソフトウェアインストールの際と一緒にインストールすることができます）

なお、本ドキュメントはソフトウェアの取り扱い、デバイスへの Network 設定のポイントを解説した簡易マニュアルとなります。すべてを詳細にわたって解説するものではありません。また、本ドキュメントに記載されている手順以外の操作を行った場合、障害が発生する場合がございます。記載されている手順以外の操作に起因する障害につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますことを、予めご了承ください。

# 2. ソフトウェアのダウンロード, インストール

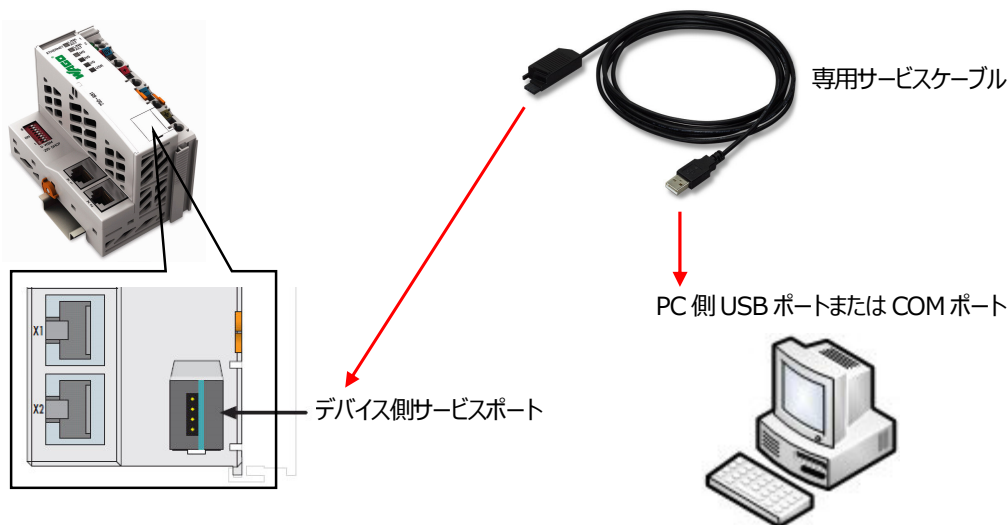
「WAGO Ethernet Settings」インストーラは、ワゴジャパンホームページ (<http://www.wago.co.jp/io>) より無償ダウンロードすることが可能です。ダウンロードしたインストーラを解凍し実行ファイルを実行すると、インストールウィザードが起動しますので、ウィザードに従ってインストールを行ってください。

※ USB ドライバのインストーラも同様に単独でワゴジャパンホームページ (<http://www.wago.co.jp/io>) より無償ダウンロードすることが可能です。

※ 2017/1/23 現在、ホームページよりダウンロード可能な「WAGO Ethernet Settings」は「Version 6.8.2」になります。バージョンは予告なく更新されることがあります。ご使用のバージョンが異なる場合、画面の表示形式やツールボタン名称が本書と異なる場合があります。

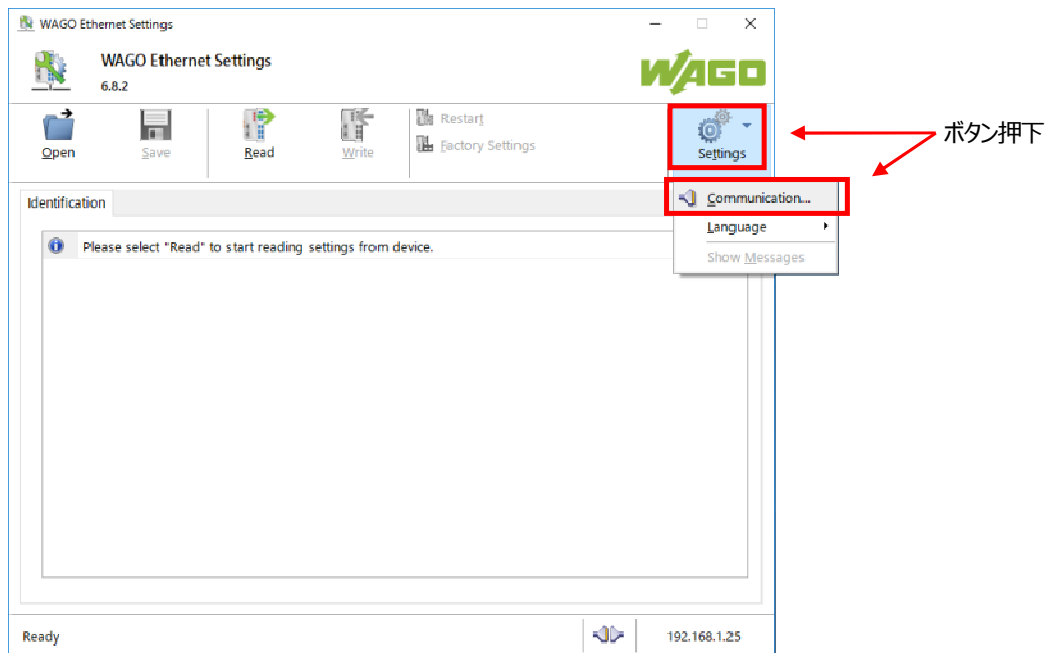
# 3. サービスケーブルの接続

専用サービスケーブルの接続は、デバイスの電源を切った状態にて片側を PC の COM ポートもしくは USB ポートへ接続、専用コネクタ側はデバイスのサービスポートへ接続してください。デバイス側サービスポートは、前面カバーマイナスドライバー等を使用して開けていただくと、その中にあります。（下図参照）

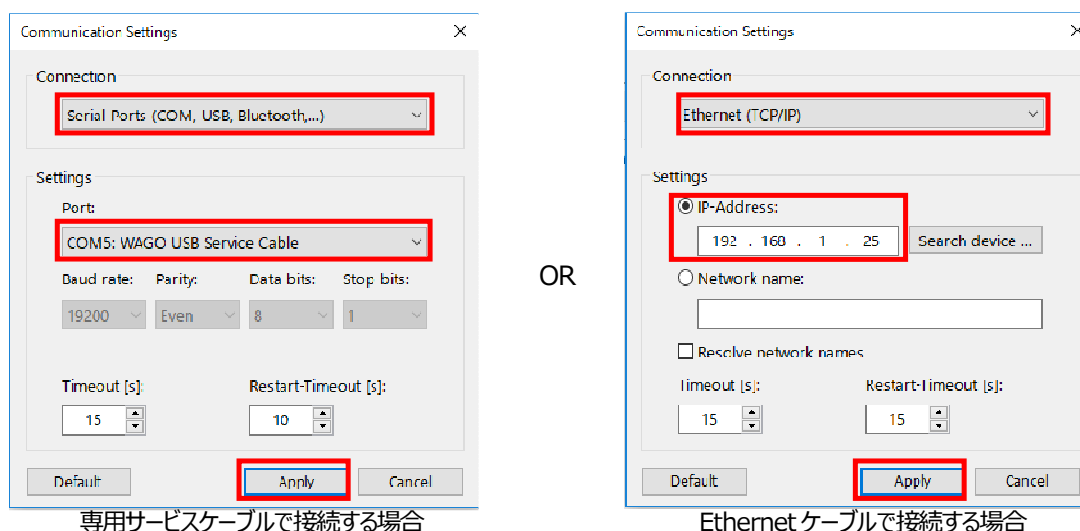


## 4. ソフトウェアの通信設定

- ① インストールが完了したら「WAGO Ethernet Settings」のショートカットアイコンが作られますので、ダブルクリックします。ソフトウェアが起動したら、まず初めに [Settings] ボタンから [Communication ...] を選択します。



- ② [Communication Settings] 画面の [Connection] より [Serial Ports] もしくは [Ethernet] を選択します。[Serial Ports] の場合は、専用サービスケーブルの COM ポート番号を選択します。[Ethernet] の場合は、DIP-SW で割り付けたデバイスの IP アドレスを入力します。



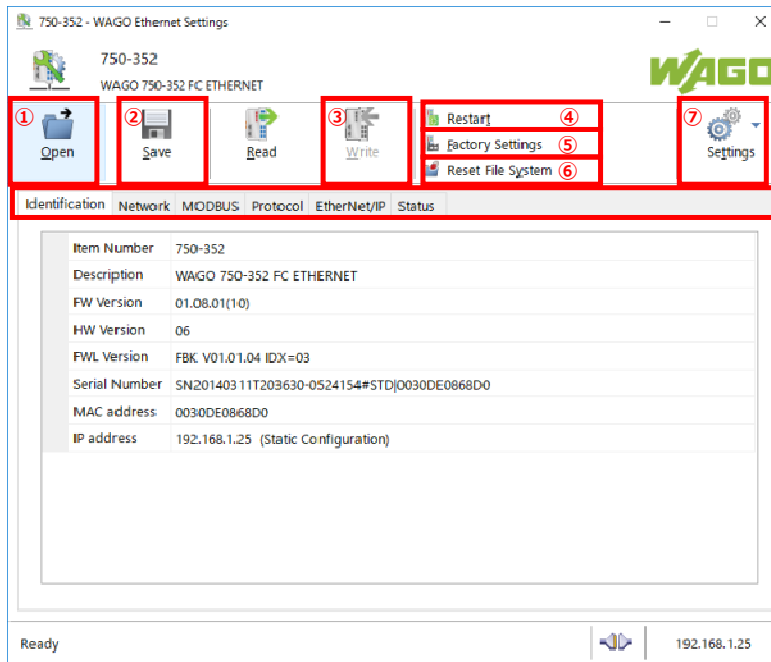
- ③ 最後に [Apply] ボタンを押下します。

## 5. ツールボタンの解説

デバイスに正常に接続されると、下図のような画面が表示されます。

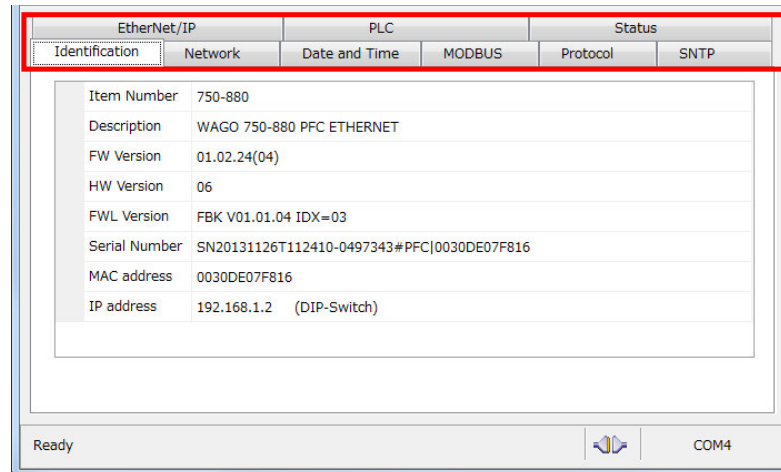
※ 接続したデバイスタイプによって表示される画面（ページタブ）が異なります。

デバイス=バスブラウザの場合



ページタブが異なる

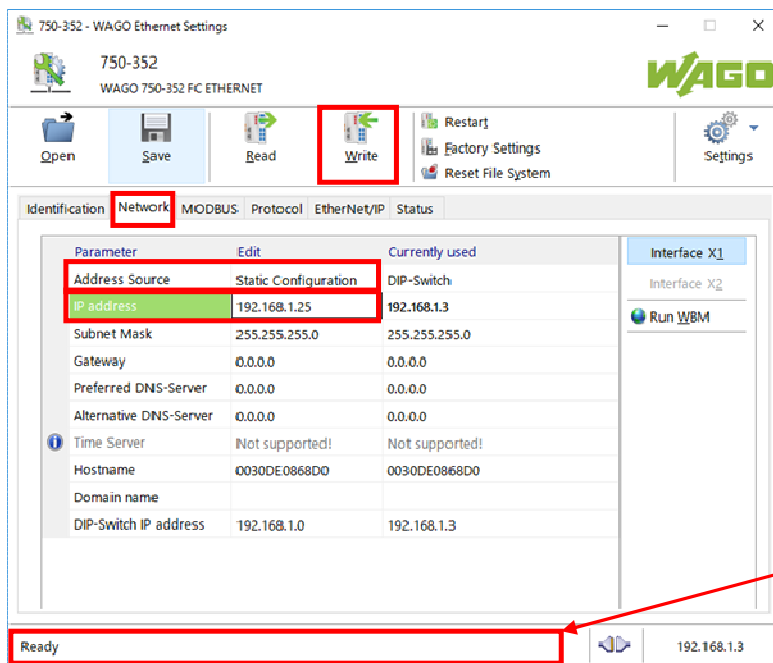
デバイス=バスコントローラの場合



- ① Exit : ソフトウェアを終了するボタン
- ② Identify : デバイス情報を読み込むボタン
- ③ Write : 変更した設定内容を書き込むボタン
- ④ Reset : デバイスを再起動するボタン
- ⑤ Factory Settings : Network 設定を工場出荷状態に戻すボタン
- ⑥ Reset File System : デバイス（主にバスコントローラ）の内部メモリを初期化するボタン  
※ ユーザレベルでは通常は操作しません。取扱いを誤るとデバイスが起動しなくなります。
- ⑦ Settings : 通信設定および、言語（英語 or ドイツ語）選択するボタン

## 6. IP アドレスの設定

- ① ページタブを [Network] に切り替えます。
- ② 工場出荷状態では、[Address Source] = [BootP-Server], [IP address] = [0.0.0.0] となっていますので、[Address Source] = [Static Configuration (固定 IP)], [IP address] = [任意] に変更してください。その他、[Subnet Mask], [Gateway] など必要に応じて設定/変更してください。



- ③ 最後に [Write] ボタンを押下します。  
設定変更中は画面下部のメッセージが変化し、正常に完了すると「Ready」となります。

※ 設定変更中は絶対に通信ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。デバイス故障の原因となります。

## 7. その他の設定

[Network]タブ以外の設定項目については、WEB 設定画面 (Web-based Management) より実施してください。WEB 設定画面の操作方法については、各デバイスの製品取扱説明書を参照してください。各デバイスの製品取扱説明書についても、ワゴジャパンホームページ (<http://www.wago.co.jp/io>) より無償ダウンロードすることが可能です。

ご不明な点がございましたら、ワゴジャパン株式会社ホームページにございます お問い合わせフォーム にて (<http://inq.wago.co.jp/call-back.html>) お問い合わせください。